

○2番(近藤 敏彦君) おはようございます。

初めてのトップバッターということで、それなりに緊張をしておるわけでありまして、非常に気持ちのいいものでありまして、凡打することなくセーフティバンドでもよろしいので、塁に出ることができるよう頑張りたいと思います。

ひとつよろしく願いをいたします。

まず1つ目ですけども、体育施設の利用状況についてお尋ねをいたします。

中央球場など、一部の体育施設で利用者の減少が見られますが、以前に施設の使用料金の改定をしたことと関係していませんか。近年の各体育施設の利用者数と使用料金の推移をお聞きいたします。

○議長(木村 宗朝君) 岡野譲治教育長。

○教育長(岡野 譲治君) おはようございます。

近藤議員の体育施設の利用状況についてのご質問にお答えをいたします。

議員ご指摘のとおり、体育施設の利用者につきましては、中央球場をはじめとする一部の施設で減少が見られます。

特に中央球場では、日中の使用と並行してナイター利用も減少しており、使用料収入も右肩下がりとなっております。

平成21年度には、受益と負担の公平性確保の観点から、体育施設の使用料を見直しましたが、中央球場の過去10年間の利用者を見ますと、平成17年度の約6,000人をピークに徐々に減少しており、料金改定を行った以降の使用回数や使用料は、ピーク時と比較すると大きく減少をしております。

野球場の使用料が減少している一つの要因といたしましては、競技者人口が大きく減少していることが考えられます。毎年、中央球場で開催しております軟式野球リーグの参加チームも、平成15年度には22チームの登録がありましたが、今年度は6チームまで減少しており、リーグ戦の開催も危ぶまれる状況となっております。

一方、城山球場の利用者も、平成22年度に一時的に増加はしたものの、中央球場と同様に減少している傾向にあります。

また、他の体育施設につきましては、年度によって増減はあるものの、ほぼ安定した利用状況であります。体育施設全体の使用料収入は、改正前と比較して若干増加をしております。

今後、体育施設全体の利用方法や料金体系につきましては、現在協議をしております「旧員弁郡定住自立圏共生ビジョン」の中で、広域的に検討していくよう考えておりますので、よろしくご理解賜りますようお願いをいたします。

以上でございます。

○議長(木村 宗朝君) 近藤議員。

○2番(近藤 敏彦君) 先ほどのご答弁の中で、野球をする人口が大変減ってきているというようなご答弁でした。中央球場や城山球場などの野球場の使用料、利用者数、利

用回数がそれぞれ減少している傾向にあるようです。特に中央球場については料金の改定以降、使用料、使用回数など、約半分程度となっております、数値的には著しい減少を示しております。

これは先ほど競技人口が減ったことに起因しているというようなご説明でありましたけども、ほかに原因として考えられることはありませんでしょうか。

○議長(木村 宗朝君) 岡野教育長。

○教育長(岡野 譲治君) お答えさせていただきます。

先ほどもお答えさせていただきましたけれども、まずは競技人口が減っていることが原因ではないかなと思っております。

2点目に料金のことというんですけども、料金の場合には受益者負担という形をお願いをしておりますので、それに伴って大きく減ったということはないと私どもは分析をしております。

以上でございます。

○議長(木村 宗朝君) 近藤議員。

○2番(近藤 敏彦君) 受益者負担ですから、使わない人にとっては全然関係のない話であると思います。やっぱり競技人口が減ったということが一番の原因かなと私も思います。

野球場に限って、あとお尋ねしたいと思いますが、近隣市町の球場の利用料金について若干調べてみました。それぞれ市内・町内の方の利用料金で、市外・町外の方はその2倍の金額となりますので、ご了承ください。

まず、いなべ市の大安球場と員弁運動公園については、それぞれ日中は1時間当たり1,000円で、ナイターは6,000円とのことでした。大安球場については、ナイターは今はやってないということですが、そのような金額の設定です。

また、桑名市の九華公園野球場につきましては、日中の4時間以内につきまして、1回2,000円と非常に安価な設定になっております。ナイターは7,000円でありました。

東員町の中央球場は昼間は1時間1,500円で、ナイターは1万円です。若干ではありますが、いなべ市、桑名市の同レベルの野球場と比較しますと、やや高めな料金設定になっているんじゃないかと思われま。

これら近隣市町の料金を参考にして、再度料金の見直しも必要ではないかと思われますが、いかがでしょうか。

○議長(木村 宗朝君) 岡野教育長。

○教育長(岡野 譲治君) お答えをさせていただきます。

この料金改定は平成21年度に町民の皆さんのご理解を得ながら、議会の皆さんのご承認を得ながら改定をさせていただきました。受益の負担と公平性の確保ということで私ども決めさせていただきました。近隣市町のそれぞれのスポーツ施設の利用というのは、それぞれの状況があると思います。私どもは平成21年度に改定をさせていただいた趣旨

のもと、現状維持ということで見直しをしたばかりですので、この料金体系を維持していきたいなと思っております。

以上です。

○議長(木村 宗朝君) 近藤議員。

○2番(近藤 敏彦君) 平成21年に料金改定をしたばかりで、またコロコロ変えるのもどうかとは思いますが、利用していただいてこそその施設でありますので、利用者が減るとことは本末転倒ではないかと私は思います。利用することによってたくさんの方から料金を徴収して、それを維持管理に充てていくと、いい循環をつくらないことには、なかなかいい管理・運営ができていかないんじゃないかなと、こういうふうに思います。

野球場につきましては減少傾向にありましたけれども、ほかの体育施設、これは先ほどもご答弁の中で、ほぼ横ばいの状態ということでお聞きしました。具体的に調子のいいというか、利用率が上がっているような施設を二、三、紹介いただけますでしょうか。

○議長(木村 宗朝君) 岡野教育長。

○教育長(岡野 譲治君) お答えをさせていただきます。

調子のいい施設、ちょっとあれですけども、利用率が上がっているということで、総合体育館が利用率が上がっております。特にトレーニング室は非常に多くの方にご利用をいただいております。

それから陸上競技場も、陸上競技ではないんですけども、サッカーとか、その他、いろんな催し物で利用が上がっております。

そういうところですよ。以上です。

○議長(木村 宗朝君) 近藤議員。

○2番(近藤 敏彦君) 体育館のトレーニング室は改修したばかりで、機器も非常に充実しているということで、利用者の方が増えたんじゃないかと思っておりますけども、私、最近よく感じるのが、個人的にトレーニングされるというのは増えてきているのではないかと。要するにチームをつくって、その中でのコミュニケーションを図りながらのスポーツ、こういうものがなかなか少なくなってきたんじゃないかなというふうな気はしております。

全体的には球技を指すわけですけども、先ほど野球の人口が減ったとかというご説明がありましたけども、そういったコミュニケーションをとることが若干苦手な風潮というか、そういうものが出てきて、それが数字に反映しているんじゃないかななんて、少し思ったりします。

以前にも申し上げたことがありましたけども、桑名市などは一部の体育施設に指定管理者制度を取り入れております。当町においても、使用料の設定をはじめ施設の維持管理を専門的に行うことができる指定管理者制度の導入を積極的に進めるべきではないかと考えますが、いかがでしょうか。

○議長(木村 宗朝君) 岡野教育長。

○教育長(岡野 譲治君) お答えをさせていただきます。

教育委員会といたしましても、体育施設の指定管理者等の制度については、その導入に向けて毎年常に検討を進めております。いろんな具体的な事例も進んだところもあり、それが途中で頓挫したというようなところもあるんですけども、現状としてその検討を進めている中で課題というか、私どもが解決をしていかないとかんことが2点あります。

1点目は、東員町の場合には多様な体育施設がありますので、その指定管理者制度を導入した場合に、全施設を一括して指定管理者にお任せをするのか、それとも部分的に任せていくのか、どちらのほうによりいいのかというような問題を今検討しております。現段階で私どもといたしましては、施設ごとの導入が一番可能かなという形で考えております。

2点目の課題というか、今研究をしているところは、受け皿となる業者の選定であります。私どもといたしましては、平成24年度に町のスポーツ施設の振興の中核として、スポーツ協会を発足をさせていただきました。将来、このスポーツ協会の組織を充実させていただきまして、施設の管理運営を含めた指定管理事業者となつていただくようにというのが、1つ考えを持っております。

以上です。

○議長(木村 宗朝君) 近藤議員。

○2番(近藤 敏彦君) 私の知る限りの桑名の体育施設というのは、有志というか、全然経験のないような、言ってみたら素人の方が、じゃあ自分たちでやってみようかというようなことで管理を受けておられます。実際、体育館なんですけども、そこに事務局員が1人常駐されてまして、清掃だとか、その辺、全てをその団体が管理されておることです。球場もあつたかと聞いてますけども、草刈り等もされているようですね。全くそういう専門的な業者さんではなくて、本当の素人の方々が立ち上げられたというようなことを聞いております。

それと、この東員町、さまざま施設があるわけですけども、さっきおっしゃられたように全てを一括して管理する団体がいいのか、あるいは部分的に、この施設ごとに業者さんを選定したほうがいいのかというのは、やっぱり部分的にされたほうがいいと思います。より細かい管理ができますし、それなりの深めた運営ができるんじゃないかと思いますので、これは部分的にやられたほうがいいんじゃないかと思います。

また、これも以前に私、委員会の場で申し上げたことがあるんですけども、中央球場のフェンスにさびが浮いてまして非常に見た目が悪い状態になっております。どのようなスポーツでもそうでありますけども、町外のチームを招待する機会も多々あるわけです。ましてや東員町長杯などの大会も開かれますし、その際には、町外からもたくさんのチームが来ていただきます。そのような場所が手入れが十分ではなく、気持ちよくプレーしていただくことができなければ大変失礼だとも思いますし、東員町としても恥ずべき部分だと思います。せっかく立派な球場や陸上競技場など、施設があっても、宝の持ち腐れになってしまつてはもったいないことであります。

最後になりますけども、利用料金の改定や指定管理者制度の導入も念頭に置いていただき、利用者の立場に立って、よりよい施設のあり方を考えていただきたいと思います、今後の方向性をお示しいただきたいと思います。

○議長(木村 宗朝君) 岡野教育長。

○教育長(岡野 譲治君) お答えをさせていただきます。

私どもは体育施設等の基本方針といたしまして、町民の皆さんが週に一遍、いろんな運動ができるような体育施設になっていただきたいと思いますし、そういう方針を持ちながら体育振興を進めてまいりたいと思います。そのための施設の有効利用に関しましては、先ほども申しましたように、将来、指定管理者制度に移っていくのか、現行の体育施設をより充実して直営でやっていくかというのは、まだちょっとお時間をいただきたいと思いますけれども、とにかく町民の皆さんにとって大変使いやすい、そしてよりよいと思っただけの体育施設の運営管理に努めてまいりたいと思っております。

以上でございます。

○議長(木村 宗朝君) 近藤議員。

○2番(近藤 敏彦君) 昨年度でしたかな、武道館の屋根にたくさんの草が生えて、とんでもないことになってましたよね。中央球場なんかも見てのとおり、汚い球場になっております。要するに町の皆さんのお力で対処できない、対応できない、手に負えないということであれば、それなりの専門業者の方に入ってきていただいて委託をします。そして町民の方々も気持ちよく使っていただけるというような体制に持っていったほうがいいんじゃないかと僕は思います。無理することなく、どんどん仕事をシェアしていただいて、民間に任せるところは任せてもいいんじゃないかなと思います。

1点目の質問は終わらせていただきます。

2番目の質問をさせていただきます。

町所有の遊休地、遊休施設についてお尋ねをいたします。

現在町が保有している土地や施設について、有効利用されていないようなものについて、今後どのような対策を講ずる予定でしょうか。以前より宅地開発などを行っては、というお話をさせていただいております。笹尾地区にあります第一保育園跡地などは、一部が自治会のごみ置き場として使われていると聞いておりますけれども、ほかに借り手はありませんでしょうか。また、売却も含めた有効利用を早急に考える必要があると思いますが、どのようなお考えを持っておられるのか、お聞かせ願います。

○議長(木村 宗朝君) 水谷俊郎町長。

○町長(水谷 俊郎君) おはようございます。

近藤議員の町所有の遊休地、遊休施設についてのご質問にお答えをさせていただきます。

近年、国から地方への権限委譲に伴い、基礎自治体の担うべき業務量というのは大変増えてきておりまして、また、住民ニーズが多様化していることも重なりまして、取り組むべき仕事に見合った公共スペースの確保が必要となってきております。

一方、これからは人口減少などによる公共施設等の利用需要は変化することが予想されますことから、公共施設の状況をいま一度検証し直して、長期的な視点に立って財産等の適正管理に努めることが必要となってきていると考えております。

現在、町が保有しております普通財産につきましては、これからの利用状況を勘案し、有効な活用方法を十分検討した上で、町として活用が見込まれない場合は、民間への売却等が可能な財産と位置づけて処分することといたしております。

ご質問の旧笹尾第一保育園跡地につきましては、条件つきで民間へ売却する方向で考えておりまして、環境に配慮した、また、若い人をターゲットにした住宅の建設、販売をしていただくことにより、この地域に若者が定住してもらうことを期待しております。

よろしくお願いを申し上げます。

○議長(木村 宗朝君) 近藤議員。

○2番(近藤 敏彦君) 笹尾第一保育園跡地については、民間へ売却されるような考えもあるということで、私、以前から申し上げておるとおり、宅地にして、今おっしゃられたとおり、若い方に移り住んでいただいて活気のあるまちにしていくと、私の願いでもありますので、ぜひその辺、前向きに進めていただければと思います。

あと以前、保健福祉センターについて、使い勝手の問題などで、今後の利用をどう考えていくかというようなことをお尋ねしたことがありましたが、検討委員会を立ち上げて、建てかえも含めた形のさまざまな方法を検討していきたいという旨のご答弁をいただいたことがありました。その後、この保健福祉センターにつきましては何らかの進展がありましたでしょうか、お聞かせください。

○議長(木村 宗朝君) 水谷町長。

○町長(水谷 俊郎君) 保健福祉センターにつきましては、35年以上たっておりまして、結構、最初の建てられた時にデザインが優先されているようなところがあって、非常に使い勝手の悪い部分があるのは事実でございます。

そして先ほども言いましたように、35年以上たっておりまして、少し老朽化をしてきてます。ただ、非常に頑丈な建物であることは間違いありませんので、今、検討委員会のほうでそれを改修、あるいは改築して、少し外へ出したり、必要な面積を確保していくことも含めて検討をしておりますが、非常に膨大な費用がかかりそうな感じでございますので、先ほど議員ご指摘のように、壊して新しいものを建てかえたほうが、ひょっとするとトータル的に安上がりになる可能性があるということも、今検討をしております。

いずれにしろ、今のままでは、なかなか皆さんがご利用いただくには少し問題が出てきておりますので、それとともに必要な部屋、例えば発達支援室だとか包括支援室、あるいは市民活動支援センター等々、少し必要なものが出てきておりますので、その辺も含めま

して、保健福祉センターをどうしていくかということ、今まだ検討の最中なんですけど、やっておりますので、ある程度の方向性が出ましたら、その時点で議会の皆さんにご相談をさせていただきたいというふうに考えております。

○議長(木村 宗朝君) 近藤議員。

○2番(近藤 敏彦君) 検討中ということで、ある程度の方向性が出たらというお話ですが、これも期限を切って、いつごろまでには答えを出したいとか、という明確なある程度の目標がないと、ズルズルといっちゃう可能性もありますので、この辺は留意していただきたいと思います。

以前に私、テレビで見たことがあるんですけども、庁舎でしたか、隣接する施設であったか、ちょっと定かではありませんけども、その中の一角を郵便局が間借りしているという光景がありました。その施設の使い勝手が悪ければ、そこを逆に便利に使っていただける方がいらっしゃれば、その方に使っていただければよい方法だと思います。民間でも構わないと思います。施設を貸し出すことで賃貸料が入り、貸し手も借り手も喜べるような方法は考えられませんか。

○議長(木村 宗朝君) 水谷町長。

○町長(水谷 俊郎君) まず最初に保健福祉センターの検討は、大体の方針を今年度中に出したいというふうに思っております。

今、議員ご提案の件に関しましては、PFIなどの一つの方法であるかなというふうに思いますが、例えば非常にここが便利なところで、民間の皆さんが活用したいというところであれば、その方法も考えられるのかなというふうに思いますが、今のところ、なかなか民間の皆さんでここを使っていただくということが見えていないものですから、今のご提案、もっともな話だとは思いますが、なかなか今の現時点では難しいのかなというふうに思っております。

○議長(木村 宗朝君) 近藤議員。

○2番(近藤 敏彦君) 便利な場所であれば、そういう使い方できるんじゃないかと。便利な場所にしていく必要もあるのかと思います。この道路の話も以前からさせていただいてますけども、交通網も便利になって、車の流れなり、人の流れが変わって、ここが本当の一等地になればそういった賑わいも出てきますでしょうし、借り手も出てくるんじゃないかと、そういうふうにしていくべきではないかと思います。

最後にもう1点伺いをいたします。

育苗研修交流施設、いわゆるガラス温室であります。この施設は当時、緑と花のあるまちづくり事業で、花の供給基地として新しい農業を考えるための研究や実践活動、農業指導などといった幅広い利用を目指すとともに、町民の憩いの場であり、自由に参加できる施設として、国からの補助金を受けて建設された経緯があるかと思います。

このガラス温室の利用状況と今後の有効利用について、どのようなお考えがあるのか、お聞きいたします。

○議長(木村 宗朝君) 水谷町長。

○町長(水谷 俊郎君) まず、ガラス温室に行く前に、このあたりは東員町の中心であります。ちょうど地図を見ていただくと、ど真ん中だというふうに認識しております。そして数年前に北勢線の駅も東員駅に集約されたということで、非常にポテンシャルは上がっているというふうに思ってますので、以前から私、お話をしてますように、町の顔となる小さなまちづくりができないかなと。これはもう本当に中心、そして駅、役場、公共施設がそろっているということですね、賑わいのある、そしてここへ人が集まるまちづくりというのが、議員も私と同じように思っておられると思うんですが、そういうまちが必要であるというふうに思ってます。

幸い、東員インターが2年後に開通をしまして、桑名東員線という県道が横を走ってますけれども、ちょうど文化センターと役場の間でクランクになってます。これを解消すべく、今、県と協議に入っております、クランクではなくてスムーズに通れる道、これ県道ですので、何とか県にやってもらわなければいけないんですが、その優先順位を早めてほしいという協議をしております。そういう中で、この地域を見直していければなというふうに思っております。

お尋ねのガラス温室につきましては、十数年前、20年近く前に建設されたものを約5年ほど利用はされたいんですが、その後は余りというか、ほとんど利用されていないということで、これも数年前に一部、東員町の花弁クラブの方が入っていただいて、花卉棟で花の生産を今しておっていただきます。この花につきましては、町も今までほかのところから買って花運動みたいなことでやっておられたと聞いてますが、花卉クラブから購入をさせていただいて、各自治会だとか学校、あるいは公共施設で花いっぱいということをやらせていただいております。

真ん中の展示棟につきましては、全部うっそうと繁っていたものを取っ払って、今、民間の方に、月2回ほどですが、朝市を開催しておっていただいています。ただ、水耕棟については全然利用がされてないということでございまして、何か利用ができないかなということで、我々も非常に困っているところではあります。

2~3年前に、水耕栽培で使いたいという話はありませんでしたが、事情があつてなかなか進んでいかなかったという、これは民間の方でございすけども、進んでいかなかったということがございまして、我々も困っておりますけども、何かそういうことでもあればなということも含めて、何とかせつかくの施設でございすので、今、議員もおっしゃられましたように、補助金も入った非常に大切な施設でございすので、何とか有効利用できないかなと、いろいろお教えがあつたら拝借したいなということもあわせてお願いを申し上げたいと思います。

○議長(木村 宗朝君) 近藤議員。

○2番(近藤 敏彦君) 使われてない水耕棟というのがあると。あとは朝市で月数回程度使われるような場所と、本当にさつき町長がおっしゃられたように、補助金も入って大



事な場所やということですので、そのままにしてほったらかしにしておくのは、ちょっとまずいんじゃないかなというふうに思います。

水耕栽培ということで民間の業者さんに入っていたいたが、うまいこと活用されなかったということがありますけども、ほかに民間の業者さん、水耕栽培にこだわる必要はないと思うんですけども、そのようなところで何か少しあてでもあれば探してみてもどうかと思いますか、いかがですか。

○議長(木村 宗朝君) 水谷町長。

○町長(水谷 俊郎君) なかなかあてというところまでいきませんが、数年前に、今言いましたように話だけだったんですが、ちょっと興味を示された民間の方がみえました。そういう方がおられれば、また話に乗せていただければなというふうに思いますが、いらっしゃるのかどうかわかりませんので、また議員もあてがありましたら、ご紹介いただければというふうに思います。

○議長(木村 宗朝君) 近藤議員。

○2番(近藤 敏彦君) 引き続き有効に利用活用していただけるような方を探していく。これは皆さん、同じ共通の意識を持って今後とも当たっていきなと思います。

あとガラス温室の活用につきましてもそうです。先ほどの保健福祉センター、あるいはまた、東員第一中学校も老朽化してきております。役場と文化センターの間の県道、これも県にかけ合っているということではありますが、いずれにしましても非常に息の長い話も多々あります。町長も、こんなことを言っただけですけれども、来年3月には任期を終えられるわけですけれども、そういった息の長い話、課題も山積されているわけですけれども、任期中に何かウルトラCでも出していただいて、処理をしていくような方策があればいいんですけども、その辺はどのようにお考えになっているか、最後、お聞かせください。

○議長(木村 宗朝君) 水谷町長。

○町長(水谷 俊郎君) ウルトラCというのは、なかなかあるものではないということで、今期というか、私の今の任期中には全て何とかやり遂げるとことは、なかなか難しい問題があるというふうに思っております。

また、どうしても時間をかけないとできないものもございます。そういうことで、何とか私の今の任期中は一生懸命やらせていただきたいというふうには思いますが、その後、先ほども言いましたように、ここは東員町の真ん中ということでございますので、何とかこの地域を東員町の顔にしていきたいという思いは非常に強く持っております。この辺は議員の皆さんとも気持ちは共有していただけるんじゃないかなというふうなことは思っておりますが、手法がなかなか難しいものがございまして、地道にやっつけていかなければいけないという交渉事もございますので、そんなこともございまして、今の任期中に全てウルトラCで思いを遂げていくということは、なかなか難しいのではないかなというふうに思っています。

○議長(木村 宗朝君) 近藤議員。

○2番(近藤 敏彦君) なかなか任期中には難しい問題も多々抱えておられますので、  
できましたらまた引き続き続投していただいて、全ての山積された課題、うまくクリアしてい  
ただけるようなことを望みまして、私の質問を終わらせていただきます。

ありがとうございました。